

住団連

豊かな住生活をめざして—

平成30年11月号 Vol.300



一般社団法人

住宅生産団体連合会

ホームページに全文掲載しています ホームページ <http://www.JUDANREN.or.jp>

◇「平成30年度 海外視察研修会」 開催される

—北米、ダラス、ロサンゼルス地区—

9月27日(木)より10月3日(水)までの日程で、住団連主催の「2018年度海外視察研修会」が実施され積水ハウス株式会社の内山常務執行役員を団長とする総勢27名が参加いたしました。視察地の概要は以下の通りとなりました。

【ダラス地区：ウォーターズ エッジ賃貸集合住宅 (大和ハウス工業株式会社)】

テキサス州ダラス郡ファーマーズブランチ市ダラス市中心より20Km北西にあり、未来都市ラスコリナス、空港に隣接しアクセスのよい環境豊かな地域にある敷地面積1期、2期合計11.6万㎡(約35,000坪)で建築面積と戸数は合計5.1万㎡(約15,500坪) 1期11棟281戸、2期11棟、301戸あり1ベッドから3ベッドまで機能別に選択できる。



【ダラス地区：ストーンゲイト戸建て分譲 (住友林業株式会社)】

ダラス市とDFW国際空港の間に位置しアクセスの良い人気の高い住居地域にある区画数は全136区画、敷地面積平均565㎡、延べ床面積は、172㎡から304㎡までで販売は2018年2月より順次建売販売しており造成後4年間で完売を目途としている。



【ダラス地区：フィリップス クリーク ランチ戸建て分譲 (住友林業株式会社)】

アクセス、生活利便性と学区の良さから人気の高い住居地域で区画数は全161区画 コミュニティ全体で約2,400区画(約117万坪)、敷地面積平均725㎡で及び延床面積は平均380㎡ 販売は、2015年から買い替え需要向けとして平均70万US\$で販売するも、近隣のIT企業のホームオーナーが多く比較的高所得者層の需要が高い。



【ダラス地区：パロマ クリーク戸建て分譲 (住友林業株式会社)】

ダラス北西部で国道沿いに位置する交通の利便性の高い地区で、区画数：全716区画 コミュニティ全体で5,500区画、約147万坪の大型開発地区、敷地面積557㎡から725㎡庭付きが多く、延床面積155㎡から350㎡、販売は2014年からで平均販売価格32万US\$、人気の切妻屋根、外壁にレンガ、天然石を取り入れ初期住宅購入者層向けとして開発した。



【ロサンゼルス地区：ソフィア賃貸集合住宅（積水ハウス株式会社）】

ロスアンゼルスダウンタウン至近の医療施設や美術館、コンサートホール等芸術施設にも囲まれた地域にある敷地面積 1.5 万㎡（約 4,636 坪）、建築面積と戸数は商業部分で 2,560 ㎡と住宅部分 5.2 万㎡、総戸数 606 戸、賃貸価格は、1R から 3LD まで、2,000US\$ から約 4,000US\$ 月額まで、共有施設を充実した都会的なライフスタイルを実現できる。



参加者からは、活動状況がよく理解できたとの感想が寄せられました。会員団体、会員企業を始め、視察地でご協力いただきました各企業の皆様から心より感謝申し上げます。

◇「全米ビルダーズ協会、加州建築工業協会、南加州建築工業協会とのワークショップ」行われる

10月1日（月）海外視察研修会の一環でロサンゼルスにて、全米ビルダーズ協会、加州建築工業協会、南加州建築工業協会と日米の住宅事情に関する課題と展望に関するワークショップが米国関連団体のトップ3名を招き視察研修会参加者総勢 29 名と行われました。

内山視察団長のワークショップの目的等あいさつの後、日本側の住宅事情と米国住宅産業全体とカリフォルニア州及びロサンゼルス近郊地区の住宅事情の説明が行われ相互活発な意見交換が行われました。加州の住宅産業の主要課題は、日本の住宅産業が抱える問題点と類似している事、米国側からは省エネや耐震に対する日本の先端技術が米国よりも前進していることをあげ、何らかの機会でお互いに協力出来ればよいという意見もあり、相互で住生活の発展と改善に寄与していく事を確認いたしました。



◇第 14 回「家やまちの絵本」コンクール実施の報告

第 14 回「家やまちの絵本」コンクールを実施しましたが、このたび受賞作品を決定いたしました。概要は次の通りです。

1. 実施概要

①募集期間：7月20日から9月6日（消印有効）

②募集部門：

- A) 子供の部（小学生以下、親による製本化の手伝いは可）
- B) 中・高校生の部
- C) 大人の部（18歳以上）
- D) 合作の部（制作者が複数いる場合）

③応募総数：1,475 作品

④審査日程：9月21日（金）

審査委員長

小澤紀美子（東京学芸大学名誉教授）

審査委員

町田万里子（手作り絵本 研究者）

槇 英子（淑徳大学 総合福祉学部 教育福祉学科 教授）

勝田映子（帝京大学 教育学部 初等教育学科 准教授）

北方美穂（「あそびをせんとや生まれけむ研究会」代表）

前田豊稔（豊岡短期大学 通信教育部こども学科准教授、こどもにはもっと自然を「ナチュラルアートハウス」代表）

成田潤也（国土交通省 住宅生産課 木造住宅振興室長）

山崎徳仁（住宅金融支援機構 地域支援部 技術統括室長）

原 武（都市再生機構 広報室長）

小田広昭（住宅生産団体連合会 専務理事）

（敬称略）



最終審査会

2. 表彰

国土交通大臣賞（1作品）、文部科学大臣賞（2作品）、住宅金融支援機構理事長賞（1作品）、都市再生機構理事長賞（1作品）（いずれも図書カード5万円）、住生活月間中央イベント実行委員会委員長賞（4作品、図書カード3万円）、入選（20作品、図書カード1万円）

参加賞：にほんの色鉛筆 和名12色セット

3. 展示：10月から11月にかけて住宅金融支援機構のギャラリー会場にて展示を行います。

4. 主催：住生活月間中央イベント実行委員会

共催：一般社団法人 住宅生産団体連合会

後援：国土交通省、文部科学省、住宅金融支援機構、都市再生機構、東京都教育委員会、神奈川県教育委員会、埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会、愛知県教育委員会、京都府教育委員会、兵庫県教育委員会、福岡県教育委員会

第14回「家やまの絵本」コンクール 受賞者一覧表

受賞	部門	題名	作者	学校等(所属)
国土交通大臣賞	中学生・高校生の部	おふるめいじん	柴田 愛果 しばた まなか	横浜市立義務教育学校 霧が丘学園 中学部3年(神奈川県)
文部科学大臣賞	子どもの部	スズの 未来予想図	古川 花 ふるかわ はな	珠洲市立飯田小学校6年(石川県)
	中学生・高校生の部	アイの まち	駒崎 つくし こまざき つくし	千葉県立市原八幡高等学校1年(千葉県)
住宅金融支援機構理事長賞	合作の部	いえ ばあちゃん	古用 倫子 ふるもち ともち	母(神奈川県)
			古用 一登 ふるもち かずと	相模翠ヶ丘幼稚園年長(神奈川県)
			古用 七海 ふるもち ななみ	相模翠ヶ丘幼稚園年少(神奈川県)
都市再生機構理事長賞	合作の部	世界で一番 うつくしい町	澤邊 勇太 さわべ ゆうた	船橋市立大穴小学校2年(千葉県)
			澤邊 理子 さわべ りこ	乳児(千葉県)
			澤邊 貴子 さわべ たかこ	母(千葉県)
住生活月間中央イベント 実行委員会委員長賞	子どもの部	ジンペエのすてきな家	植村 陽太 うえむら さんた	福知山市立庵我小学校2年(京都府)
	中学生・高校生の部	楽しい余命3か月	小林 真子 こばやし まこ	市川市立南行徳中学校2年(千葉県)
	大人の部	「我輩は京町家に住む犬である」	八日市 律子 ようかいち りつこ	京都市立上京中学校教諭(京都府)
	合作の部	おもいで の ドレスやさん	本木 夢 もとき ゆめ 家永 珠里 いえなが しゅり 池田 夏日 いけだ なつひ	聖セシリア小学校6年(神奈川県) 田園調布雙葉小学校5年(東京都) 神栖市立軽野小学校4年(茨城県)
入選	子どもの部	はなちゃん と アゲハチョウ	金子 みのり かねこみのり	五泉市立橋田小学校5年(新潟県)
		ひっくりかえった おうち	横須賀 理人 よこすか まさと	日野市立潤徳小学校1年(東京都)
		ふしぎな ふしぎな おふる町	西尾 壮右 にしお そうすけ	大阪教育大学附属天王寺小学校3年(大阪府)
		あやちゃん の ぼうし	舌間 結香 したま ゆいか	直方市立福地小学校2年(福岡県)
		～次世代に受け継いでいきたい～ 河内長野だんじり	森川 大輝 もりかわ たいき	河内長野市立長野小学校6年(大阪府)
	中学生・高校生の部	きいろい くるまは どこいくの？	圓尾 桃子 まるお ももこ	姫路市立姫路高等学校1年(兵庫県)
		いい いえ	森本 萌咲 もりもと もえ	姫路市立姫路高等学校1年(兵庫県)
		これから これから	平良 咲乃 たいら さきの	沖縄県立開邦高等学校2年(沖縄県)
		FUSEN NO TABI	小川 今日太 おがわ きょうた	松戸市立六実中学校3年(千葉県)
		私たちの ねがい	森田 晶子 もりた しょうこ	宮若市立宮若西中学校3年(福岡県)
	大人の部	うちゅうせんになったボクのいえ	武田 光弘 たけだ みつひろ	無職(長野県)
		3家族のおうち	安藤 邦緒 あんどう くにお	無職(岐阜県)
		スマレさんの おうち	ガリドディアス 智恵子 がりどでいあすちえこ	無職(東京都)
		しってる しってる	すずき まお すずき まお	栗原市立宮野小学校(宮城県)
		やどりぎものがたり	山田 泰輔 やまだ たいすけ	大阪工業大学工学部3年(大阪府)
	合作の部	かえってくる まえに	澁谷 朋花 しぶや ともか	武蔵野大学4年(東京都)
			小田和 舞子 おたわ まいこ	武蔵野大学4年(東京都)
		獅子が舞う おうち	酒井 正也 さかい まさや	自営業(長野県)
			田中 智之 たなか ともゆき	教職員(長野県)
		みんなの まちに とどけよう	田畑 繁治 たばた しげはる	社会福祉法人 学が丘保育園担任(兵庫県)
			ほか園児42名	社会福祉法人 学が丘保育園年長(兵庫県)
			ことばあそびえほん あめのち ありんこ あいうえお	立道 絢乃 たてみち あやの 立道 都 たてみち みやこ
	学校の畑は たからもの		池田 悠人 いけだ ゆうと	豊田市立若林西小学校1年(愛知県)
			安田 すう やすだ すう	豊田市立若林西小学校1年(愛知県)
			佐々木 優人 ささき ゆうと	豊田市立若林西小学校3年(愛知県)
			青池 紗和 あおいけ さな	豊田市立若林西小学校3年(愛知県)
石川 匠 いしかわ たくみ			豊田市立若林西小学校5年(愛知県)	

◇第30回 住生活月間中央イベント 「スーパーハウジングフェア in 栃木」開催される

第30回住生活月間中央イベント「スーパーハウジングフェア in 栃木」が栃木県宇都宮市にて10月13日(土)、10月14日(日)の両日、開催されました。

今年は、「どう建てる？家族のための安心住宅～省エネ性能と耐震性能の高い家～」をテーマとしました。

住生活月間は国民一人一人に、住宅や居住環境の向上に関心を持っていただき、住生活の向上について啓発活動を行うことを目的に平成元年に制定されました。平成18年には、住生活の基盤となる良質な住宅の供給や、良好な居住環境の形成等を住宅政策の基本とする「住生活基本法」が制定され、それまでの量を重視する住宅政策が、質、すなわち、住生活を重視する政策へと大きく転換しました。とりわけ少子高齢化、大規模災害、地球温暖化などの様々な問題が台頭してくる中で、安全、安心で、省エネ性の高い、健康長寿社会の実現に向けた取り組みは益々重要になっています。

そこで、本年のテーマ展示では、大規模災害、地球環境・省エネルギー問題等の課題に対し、住宅産業界が取り組んでいる「住まいの性能」について紹介しました。

同時に住宅金融支援機構や都市再生機構をはじめとした住宅関連団体の展示や、家やまちの絵本コンクール受賞作品等の展示、住まいのリフォームコンクールの受賞作品等の展示も行われました。

更に、全国137箇所の総合住宅展示場において全国統一キャンペーンを実施し、住生活月間の告知のご協力を頂きました。

宇都宮市の「マロニエプラザ（栃木県宇都宮産業館）」で同日開催の「とちぎ住宅フェア2018」と併せて、中央イベントテーマ展示会場には、会期中約6,400名の方々の来場を頂きました。

10月13日には、同マロニエプラザの特設ステージにおいて、高円宮妃殿下ご臨席のもとテープカットセレモニーが行われました。妃殿下は各出展ブースを視察され、受賞者との記念写真や、ご説明をお受けになっておられました。

引き続き、高円宮妃殿下のご臨席、石井国土交通大臣をはじめ多数の方のご来賓出席のもと、宇都宮グランドホテル「平安の間」において「住生活月間・住生活月間中央イベント合同記念式典」が行われました。



住生活月間中央イベント実行委員会阿部委員長は、松野住生活月間実行委員会会長とともに主催者として挨拶し、また高円宮妃殿下よりお言葉をいただきました。

阿部委員長は、挨拶の冒頭で7月の西日本豪雨や、度重なる台風の上陸、北海道胆振東部地震などの天災発生においてお亡くなりになった方々に対し哀悼の意を表すとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。併せて栃木県宇都宮市での「スーパーハウジングフェア in 栃木」を手始めに、住生活月間の主旨である「住生活の向上」について、本年のテーマである「どう建てる？家族のための安心住宅～省エネ性能と耐震性能の高い家～」について、国民一人一人に啓発活動を行う事、ホームページ『住宅・すまいWeb』を通じて、全国への住情報の発信を推進していること、更に、全国住宅総合展示場に於いてキャンペーンを実施していくことで、住宅・住環境、住まい方等について、深く考える機会を提供して参りたいと考えています。」と述べました。



同時に、この合同記念式典では、「住生活月間功労者」、「住まいのリフォームコンクール受賞者」、「家やまちの絵本コンクール受賞者」国土交通大臣賞等の表彰が行われました。

◇経営者の住宅景況感調査 (平成30年10月度) 報告

- 調査時期 平成30年10月上旬
- 調査対象 住団連及び、住団連団体会員の会員企業18社の住宅の受注動向を把握している経営者

景況感の単純集計

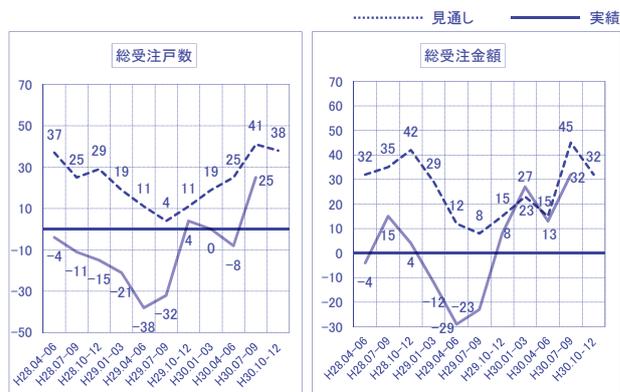
(※各数値は回答企業の合計数、○印は一番回答が多かった項目)

		7月～9月(対前年同期比) 実績				
		10%程度以上 悪い	5%程度 悪い	±0% かわらず	5%程度 良い	10%程度以上 良い
戸建注文住宅	受注戸数	3	0	3	⑥	3
	受注金額	2	0	3	⑤	4
戸建分譲住宅	受注戸数	2	0	③	1	2
	受注金額	2	1	③	2	0
賃貸住宅	受注戸数	④	3	1	2	2
	受注金額	2	⑤	2	1	2
リフォーム	受注金額	0	1	1	⑦	5
上記全体	受注戸数	1	2	1	⑥	2
	受注金額	1	1	1	⑥	2

		10月～12月(対前年同期比) 見通し				
		10%程度以上 悪い	5%程度 悪い	±0% かわらず	5%程度 良い	10%程度以上 良い
戸建注文住宅	受注戸数	1	1	1	⑫	0
	受注金額	1	1	3	⑨	0
戸建分譲住宅	受注戸数	0	1	③	2	2
	受注金額	0	1	3	④	0
賃貸住宅	受注戸数	1	2	4	⑤	0
	受注金額	1	3	3	⑤	0
リフォーム	受注金額	0	0	3	⑨	2
上記全体	受注戸数	0	1	1	⑩	0
	受注金額	0	1	2	⑧	0

※景況判断指数とは、「良い」の割合から「悪い」の割合を差し引いた値を指数化したもの。
指数最大値：指数は最大「100」、最小「-100」で表示される。

I. 景況感判断指数 【総数】



—実績—

平成30年度第2四半期(平成30年7～9月)実績の景況判断指数は、対前年同期比で、前7月度予測(総受注戸数 +41ポイント、総受注金額 +45ポイント)に対し、

総受注戸数は +25ポイント、総受注金額は +32ポイント となり、戸数に関しては、再度プラスに転じた。金額に関しては、4四半期連続でプラスを継続した。

(前4～7月度実績 総受注戸数 △8、総受注金額 +13)

前回(7月)調査時までは、「決め手に欠ける、市況に盛り上げ要素が無い。」などのコメントがあり停滞感が続いていたが、第2四半期は再度市況が動き出した。

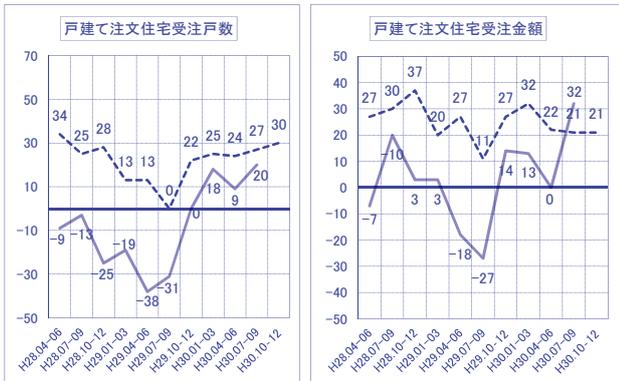
—見通し—

平成30年度第3四半期(平成30年10～12月)見通しの景況判断指数は、

総受注戸数は +38ポイント、総受注金額 +32ポイント となっている。

戸数における「5%程度良くなる」は、全回答12社中10社を占め、前回調査時から回復基調を予測する企業が多くなった。

【戸建注文住宅】



—実績—

平成30年度第2四半期(平成30年7～9月)実績の景況判断指数は、対前年同期比で前7月度予測(受注戸数 + 27ポイント、受注金額 + 21ポイント)に対し、

受注戸数 + 20ポイント、受注金額 + 32ポイントとなり、戸数・金額ともに4四半期連続でプラスを継続した。

(前4～6月度実績 受注戸数 + 9、受注金額 ± 0)

ここ1年程多かった「商談の長期化」コメントは無くなり、徐々に回復傾向となっている。

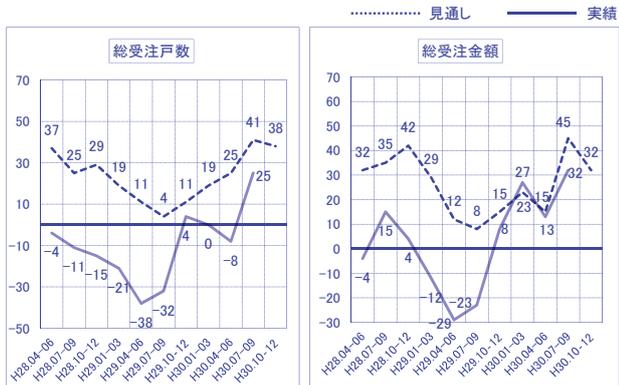
—見通し—

平成30年度第3四半期(平成30年10～12月)見通しの景況判断指数は、

受注戸数 + 30ポイント、受注金額 + 21ポイントとなっている。

前回まで慎重であった消費増税にともなう駆け込みコメントが増加してきた。戸数において「5%程度良くなる(回復する)」との回答が全回答14社中11社を占めた。

【戸建分譲住宅】



—実績—

平成30年度第2四半期(平成30年7～9月)実績の景況判断指数は、対前年同期比で前7月度予測(受注戸数 + 13ポイント、受注金額 + 13ポイント)に対し、

受注戸数 + 6ポイント、受注金額は △19ポイントとなり金額は今回も落ち込んだ。

(前4～6月度実績 受注戸数 プラス△17、受注金額 △28)

各社の販売在庫の保有状況が影響するため、今回の回答もばらつきがあったが、受注金額はここ1年間概ね減少傾向となっている。

—見通し—

平成30年度第3四半期(平成30年10月～12月)見通しの景況判断指数は、

受注戸数 + 31ポイント、受注金額 + 19ポイントとなっている。

【低層賃貸住宅】



—実績—

平成30年度第2四半期(平成30年7～9月)実績の景況判断指数は、対前年同期比で、前7月度予測(受注戸数 + 18ポイント、受注金額 + 14ポイント)に対し

受注戸数 △21ポイント、受注金額 △17ポイントとなり、どちらも8四半期連続で対前年同期比マイナスとなった。

(前4月～6月度実績 受注戸数 △17ポイント、受注金額 △8)。

相続税対策ブーム以後、マイナスが続く指数ポイントは少しずつ回復傾向となっていたが、今回は再度悪化した。「10%良い～10%悪い」まで回答は混在し、各社の受注環境に違いが出ている。

—見通し—

平成30年度第3四半期(平成30年10～12月)

見通しの景況判断指数は、
受注戸数 +4ポイント、受注金額 ±0ポイント と前々回（4月）調査時からの見通しはプラスとなっている。

資産活用、建替え、都市部の相続税対策など底堅いニーズへの提案力で受注を見込んでいる。コメントは前回と同様の内容であった。

【リフォーム】



一実績一

平成30年度第2四半期（平成30年7～9月）実績の景況判断指数は、対前年同期比で、前7月度予測（受注金額 +32ポイント）に対し、
受注金額 +57ポイント と大きく増加した。（5四半期連続のプラス。）

（前4～6月度実績 受注金額 +7）

「5～10%良くなった」の回答は、全14社中12社にのぼった。

一見通し一

平成30年度第3四半期（平成30年10月～12月）見通しの景況判断指数は、
受注金額 +46ポイント となっている。

前々回調査時の回答では「変わらず」が10社、「5～10%良くなる」が4社であったが、前回の回答では、それぞれ、5社、8社と逆転し、今回は0社、11社となり期待値は高まっている。

II. 新設住宅着工戸数の予測

平成30年度の新設住宅着工戸数の予測については、回答した14社の予測平均値が、総戸数 **94.1万戸**（前7月度94.5万戸）という予測である。利用関係別では、持家 **28.4万戸**、分譲住宅 **25.4万戸**、賃貸住宅 **39.7万戸**、給与住宅 **0.6万戸**。

持家の予測は、前7月度予測の28.8万戸から0.4万戸減の28.4万戸となり、賃貸住宅は、平成27年

度依頼の40万戸割れ予測で39.7万戸としている。分譲住宅は、0.3万戸増の25.4万戸とした。

III. 住宅メーカーの経営指標について

向こう6ヶ月間の住宅メーカーの経営指標となる下記の項目について、各社の経営者にアンケートを行った。その結果は次の通りである。

		増やす	変わらず	減らす
①	拠点展開 (展示場含む)	4 (6)	12 (10)	0 (2)
②	生産設備 (工場含む)	0 (0)	15 (17)	0 (0)
③	新商品開発	6 (7)	10 (11)	0 (0)
④	販売用土地 (分譲住宅用地含む)	6 (8)	9 (8)	0 (0)
⑤	広告宣伝費	3 (3)	12 (13)	1 (2)

()内は、平成30年4月調査時

《指標の動向について》

今回の調査では、前回（4月）調査時と比較し大きな変化は無かった。

展示場等の拠点展開においては、1/3の4社が「増やす」としており、新商品開発においては6社が、分譲用地の取得に関しても6社が「増やす」とするなど今回も積極姿勢が見られた。

◇『エコプロ2018』に住団連が出展

来る12/6（木）～8（土）、東京ビックサイト東ホールにて開催される『エコプロ2018』において、住団連では、住宅の省エネに対する消費者の意識向上を目的として、セミナー、パネル、模型を通して、最新の情報を紹介します。

来場者には、住宅の省エネ性能を分かりやすいイラストで解説した小冊子をプレゼントします。

※ 詳しい内容については、エコプロホームページ <http://eco-pro.com/2018/> まで。

SDGs時代の
 環境と社会、
 そして未来へ

12/6(木)7(金)8(土) 10:00~17:00 会場 東京ビックサイト 東ホール 主催 (一社)産業環境管理協会、日本経済新聞社

< 委員会活動 (9/16 ~ 10/15) >

【運営委員会】

◎第 272 回運営委員会 (10/10 日)

(審議事項)

1. 専門委員会委員の推薦に関する件。
2. 今後の IHA 関連業務に関する件。

(報告事項)

1. 小冊子「住まいの性能図鑑 (Vol.2)」の発刊について。
2. 「建築物省エネ法に関する講習会」申込み状況について。
3. 「これからの住宅トレンド (Vol.1.2)」リーフレットの発行について。
4. 住宅工事現場の働き方改革ガイドライン (案) について。
5. 2018 年度海外視察研修会概略報告について。
6. 「第 30 回住生活月間中央イベント」について。

【専門委員会】

◎住宅性能向上委員会 (9/25)

1. 住宅政策動向について / 国土交通省住宅局住宅生産課より。
 - ・社会資本整備審議会 建築分科会、建築環境部会について。
 - ・住宅生産課関連予算等、ブロック塀指針、シックハウス問題について。
⇒来年度建築物省エネ法改正へ向けて社整審が9月より開始される。概算要求等について説明がなされた。
2. 住宅性能向上委員会、承認及び確認事項について
 - 2-1 SWG1・SWG2 活動報告。
 - ・「住宅性能関係制度の整備に関する要望書」提出について。(SWG1)
⇒8/17 三浦委員長から長谷川課長に手交報告。
 - ・集合住宅における ZEH ロードマップフォローアップ委員会報告。(SWG1)
 - ・H 30 年度 住宅事業者向け建築物省エネ法講習会の実施について。(SWG2)
 - ・省エネ住宅消費者普及 T F 発足と活動状況について。(SWG2)
 - 2-2 IoT 等先進技術活用 WG 活動報告・太陽光発電関連について。
 - ・スマートホームライフ分科会 (第 1 回) 報告。
3. その他委員会報告・確認報告事項。
 - 3-1 平成 31 年度住宅・土地関連施策要望 (税制・予算・規制合理化) について。
 - 3-2 ハウジングトリビューン三浦委員長インタビュー記事について。
 - 3-3 第 30 回住生活月間中央イベント、性能

図鑑 vol.2 発行について。

◎住宅性能向上委員会 SWG1 (9/27)

- ・ZEH 定義打合わせ ⇒ガス協との意見交換。
- ・エネルギー消費性能計算 (住宅) における基準一次エネルギーの対象設備の拡大について。
⇒ガス協との意見交換。
- ・住宅・建築物の省エネルギー施策の施行状況。
- ・社整審～第二次答申に向けた主な審議事項とブレゼン。
- ・住宅生産者等 WG 資料。
⇒各項目について報告、討議。

◎住宅性能向上委員会 SWG2 (10/ 2)

- ・住宅事業者向け建築物省エネ法講習会の申込状況、テキスト編集状況。
⇒少ない会場のフォロー検討。
⇒本日午前中作業～国交省チェック待ち。
- ・省エネ住宅消費者普及 T F 活動状況について。
⇒原稿、セミナー進捗報告。

◎住宅ストック研究会 (10/ 1)

- ・平成 30 年度第 2 回「住宅ストック委員会」の活動状況について。
⇒浴野座長より、9月5日開催「住宅ストック委員会」の議事につき、①リフォームの地位向上のアイデア出しの「追加調査」まとめ (案)、②建産協「IT ツール活用ワーキンググループ」、③ハウジングトリビューン誌におけるタイアップ企画 (委員長インタビュー)、の 3 項目について報告と質疑。
- ・「リフォーム多能工化推進策」の検討について
⇒浴野座長より、テーマを進めるに当たり、①前提レベルの共有化の必要性、②具体的な検討内容の切り口について提案し、今後の方向性を議論。

◎工事 CS・安全委員会 (9/25)

- ・住宅工事現場の働き方改革 ガイドラインについて。
⇒ガイドライン案について、全ての内容を確認・検討し修正をおこなった。
- ・第 2 回 建築大工技能者の能力評価検討会について。
⇒資料内容を確認し、現時点の議論の方向性を確認した。
- ・第 5 回 専門工事企業の施工能力の見える化等に関する検討会について。
⇒資料内容を確認し、現時点の議論の方向性を確認した。
- ・低層住宅建築工事用、外国人労働者向非言語安全教材 (ビデオ) について。
⇒ビデオを視聴し修正箇所について意見交換をおこなった。